2023年２月10日

各　　位

会 社 名　セントラルフォレストグループ株式会社
代表者名　代表取締役社長　永津　嘉人
（コード番号　7675　名証メイン）
問合せ先　専務取締役　神谷　亨
（TEL　052－671－4145）

（訂正）決算説明資料の一部訂正について

当社は、2023年２月10日に発表の「2022年12月期 決算説明資料」について、一部訂正がありましたので下記の通りお知らせいたします。なお開示済みの決算短信等の数値に訂正はありません。また当社ホームページに掲載している当該説明資料は反映済みとなっております。

記

１．訂正の理由　グラフが一部非表示になっておりましたので訂正いたしました。

２．訂正の内容　Ｐ５、Ｐ６、P10、P11のグラフの表示を訂正いたしました。

以 上

2023年2月10日

2022年12月期　決算説明資料

セントラルフォレストグループ株式会社

証券コード：7675

2022年12月期実績

セントラルフォレストグループ株式会社

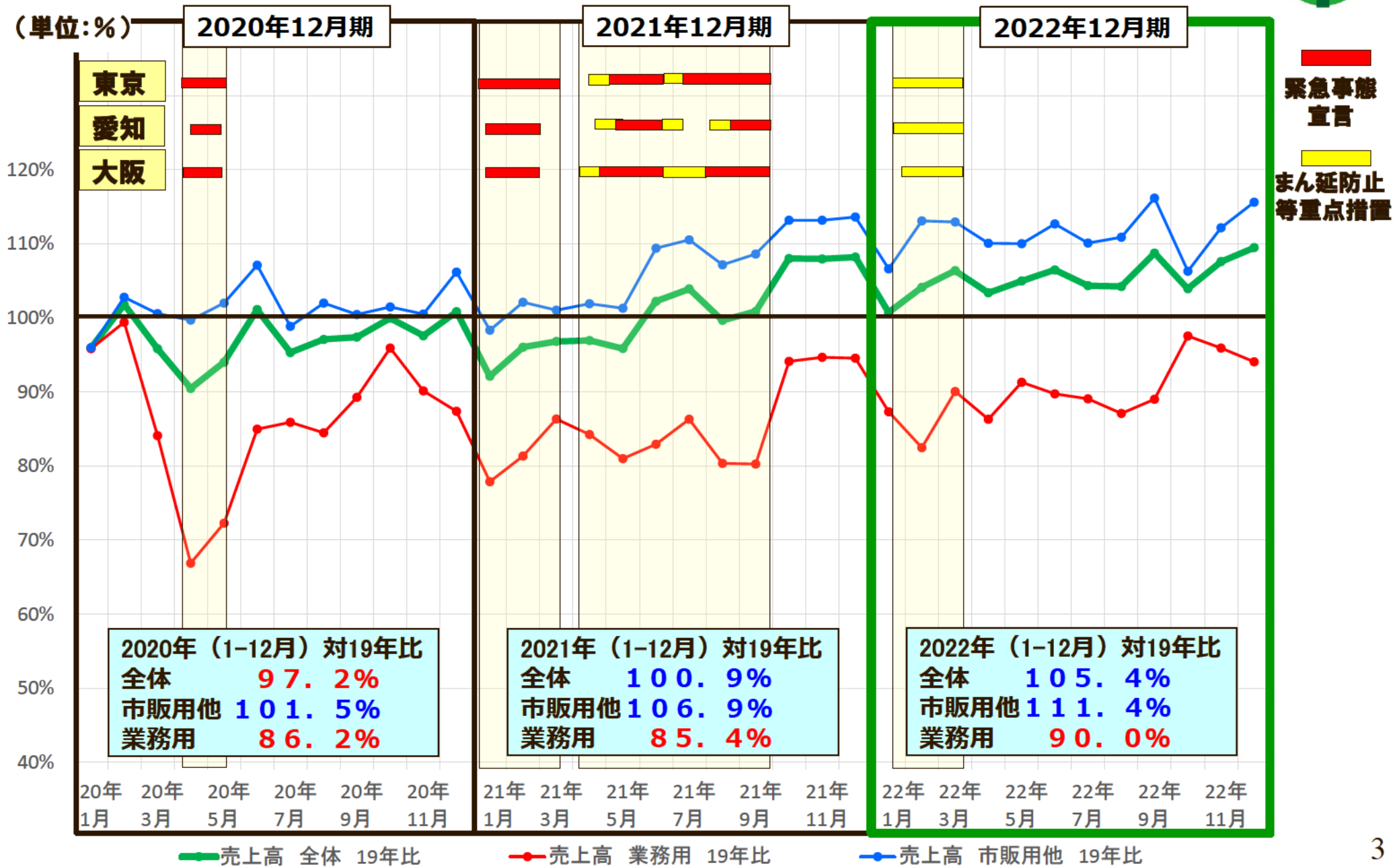
2022年12月期　連結業績実績

（単位：百万円）

	2021年12月期 通期実績	2022年12月期 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
売　上　高	298, 237	312, 649	+14,412	+4. 8%
営 業 利 益	1, 153	1, 622	+469	+40. 7%
経 常 利 益	1, 451	1, 917	+465	+32. 1%
当期純利益	1, 052	1, 268	+216	+20. 6%

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を表示
※2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、
　売上高への影響額は△152百万円（△0. 05%）
※前年実績は当該会計基準等の適用前の数値であり、対前年増減率は参考数値

売上高　2019年比月別推移(コロナ前対比)



2022年12月期　売上高実績　（単位：百万円）

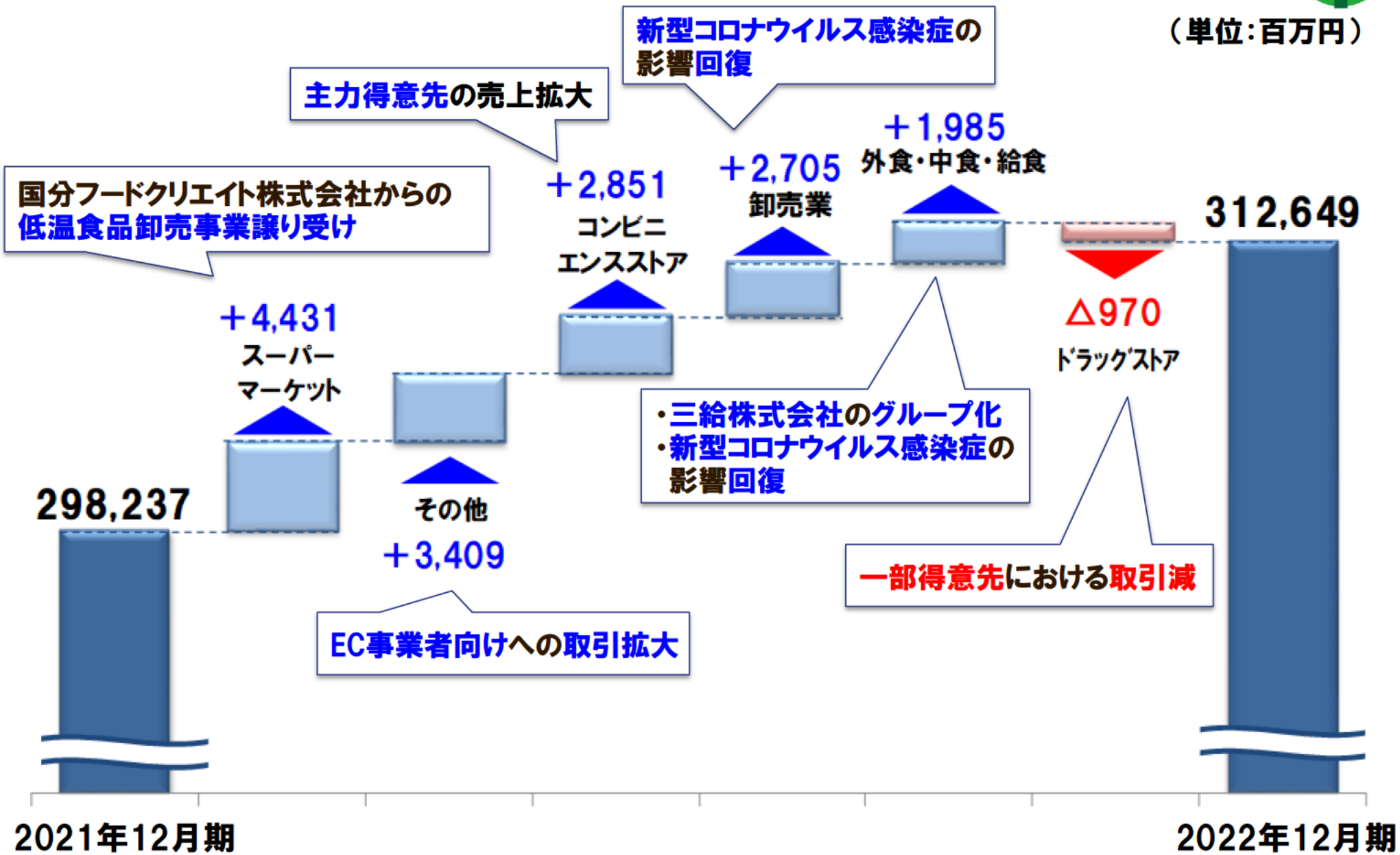
チャネル別売上高	2021年12月期 通期実績	2022年12月期 通期実績	構成比	対前年 増減率
スーパーマーケット	124，859	129，290	41．4%	+3．6%
外食・中食・給食	48，423	50，408	16．1%	+4．1%
コンビニエンスストア	40，599	43，450	13．9%	+7．0%
ドラッグスストア	41，414	40，443	12．9%	△2．3%
卸　売　業	33，886	36，592	11．7%	+8．0%
そ　の　他	9，053	12，462	4．0%	+37．7%
合計	298，237	312，649	100．0%	+4．8%

カテゴリー別売上高	2021年12月期 通期実績	2022年12月期 通期実績	構成比	対前年 増減率
製　品	4，470	4，679	1．5%	+4．7%
加工食品	142，283	145，712	46．6%	+2．4%
酒　類	74，244	77，463	24．8%	+4．3%
チルド冷凍	57，768	64，448	20．6%	+11．6%
非　食　品	6，952	7，571	2．4%	+8．9%
そ　の　他	12，517	12，773	4．1%	+2．1%
合計	298，237	312，649	100．0%	+4．8%

※2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用、前年実績は当該会計基準等の適用前の数値であり対前年増減率は参考数値

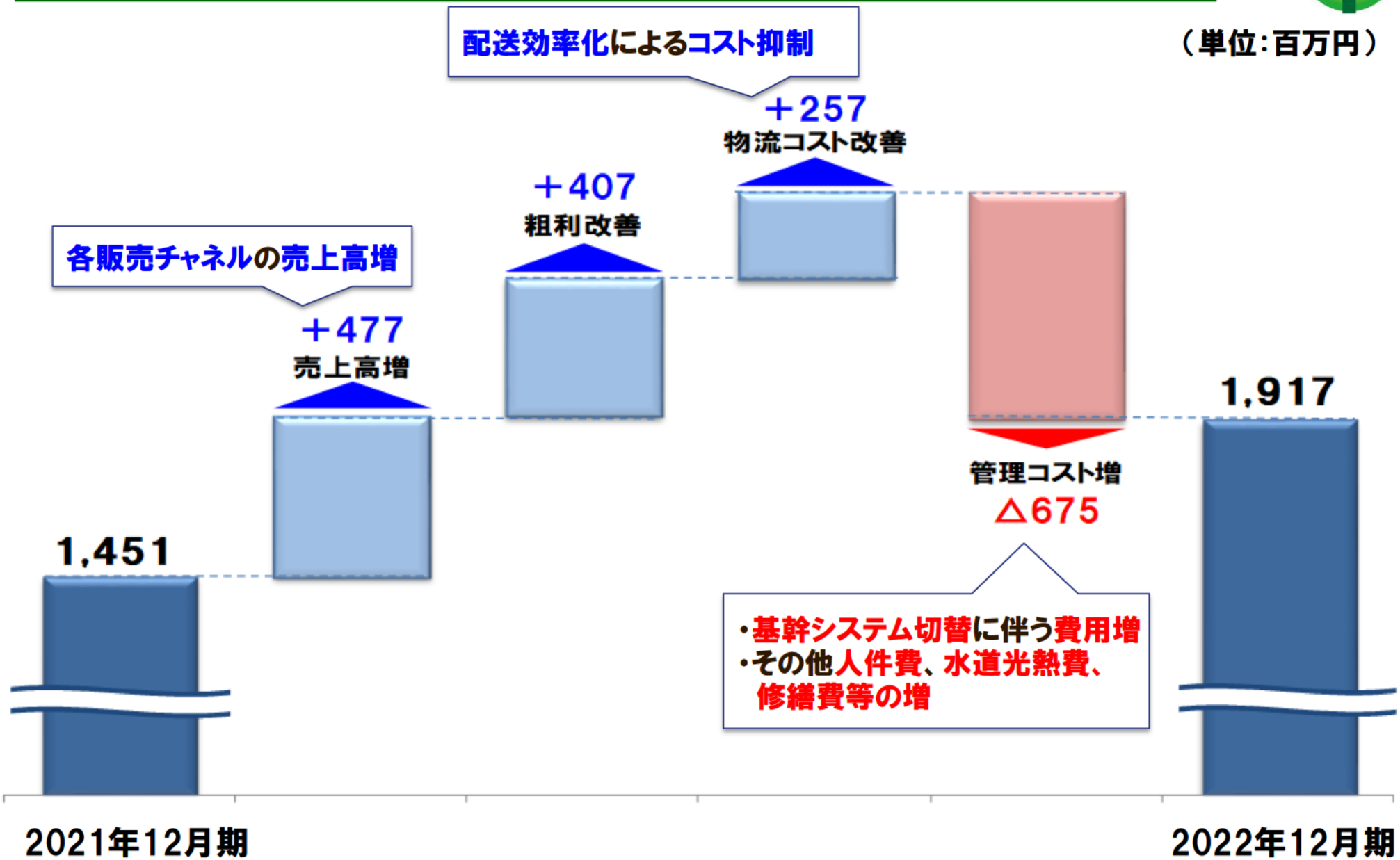
2022年12月期　売上高の増減要因

（単位：百万円）



2022年12月期　経常利益の増減要因

（単位：百万円）



2023年12月期計画

セントラルフォレストグループ株式会社

2023年12月期　連結業績予想

（単位：百万円）

	2022年12月期 通期実績	2023年12月期 通期予想	対前年 増減額	対前年 増減率
売　上　高	312,649	316,000	+3,350	+1.1%
営業利益	1,622	1,670	+47	+2.9%
経常利益	1,917	1,950	+32	+1.7%
当期純利益	1,268	1,280	+11	+0.9%

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を表示

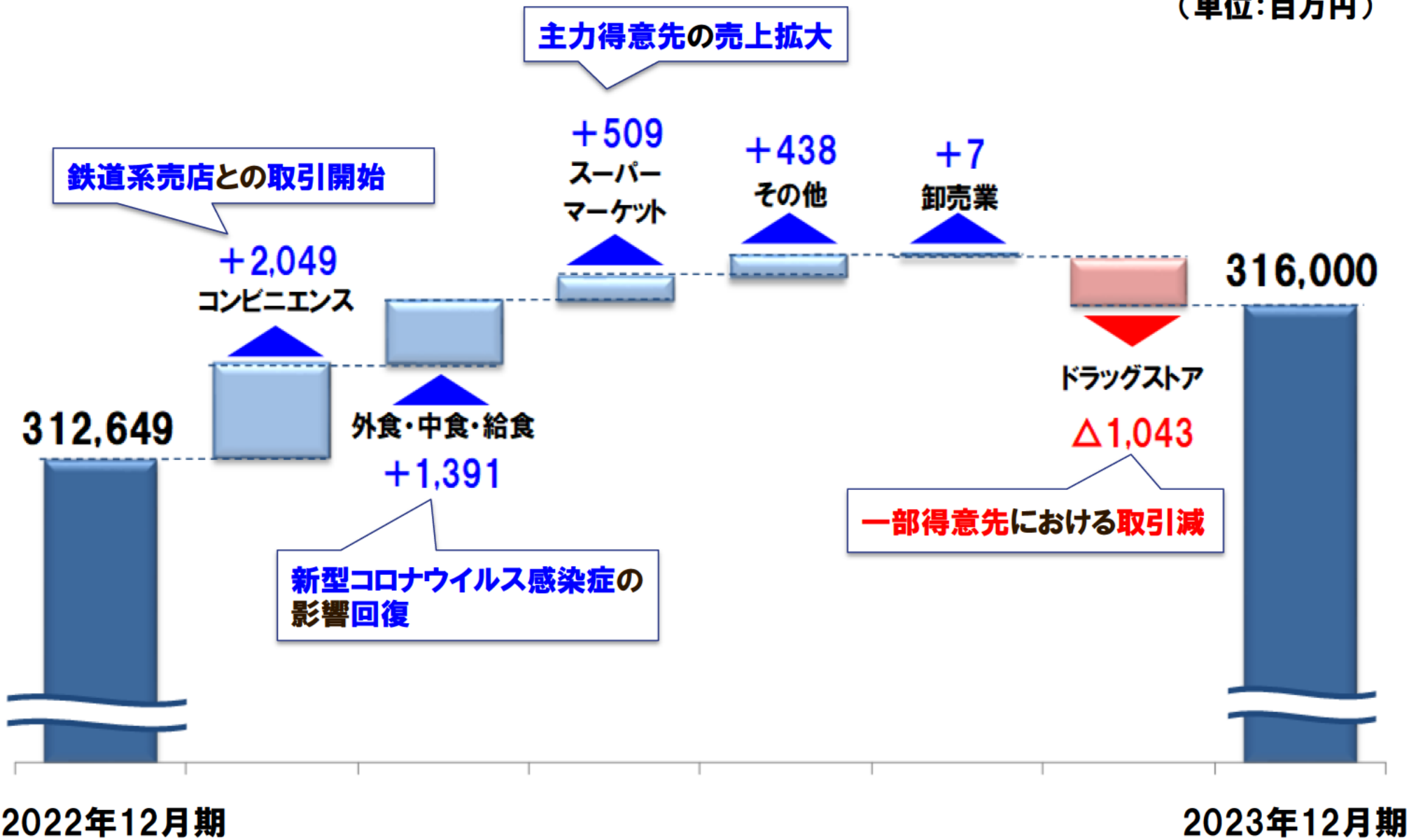
2023年12月期　チャネル別売上高予想

（単位：百万円）

	2022年12月期 通期実績	2023年12月期 通期予想	構成比	対前年 増減率
スーパーマーケット	129, 290	129, 800	41. 1%	+0. 4%
外食・中食・給食	50, 408	51, 800	16. 4%	+2. 8%
コンビニエンスストア	43, 450	45, 500	14. 4%	+4. 7%
ドラッグストア	40, 443	39, 400	12. 5%	△2. 6%
卸　売　業	36, 592	36, 600	11. 6%	+0. 0%
そ　の　他	12, 462	12, 900	4. 0%	+3. 5%
合　計	312, 649	316, 000	100. 0%	+1. 1%

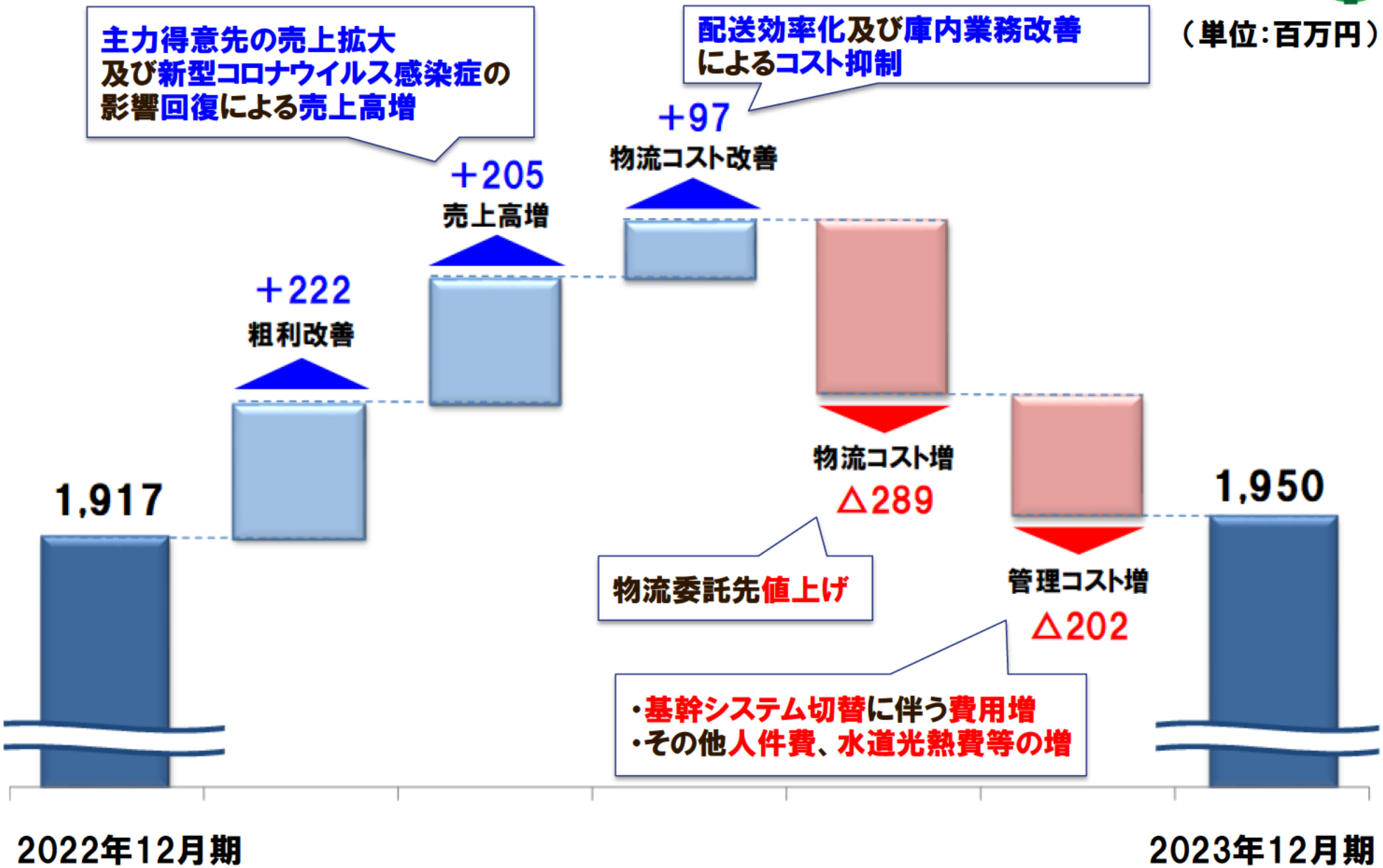
2023年12月期　売上高の増減要因

（単位：百万円）



2023年12月期　経常利益の増減要因

（単位：百万円）



配当（2022年12月期配当・2023年12月期配当予想）

	2022年12月期 配当	2023年12月期 配当（予想）
中間配当金	1株当たり17円	1株当たり18円
期末配当金	1株当たり17円	1株当たり18円
年間配当金	1株当たり34円	1株当たり36円
配当性向	23．5％	24．7％
1株当たり 当期純利益	144．47円	145．76円

株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけており、
2023年12月期の年間配当金は、前期に比べ1株当たり2円増配を予定

トピックス、長期戦略の取組み状況

セントラルフォレストグループ株式会社

トピックス①鉄道系売店との取引開始

鉄道系売店の商品供給・一括物流を受託（2023年3月より）

当社グループ（トーカン・国分中部）及び国分グループの両グループにて合同提案を行い、両社の強みを活かした提案が評価され、食品・酒類の供給及び一括物流（土産・駅弁等除く）を受託

【両グループが提案した主な強み】

当社グループ

- マーケティングや商品戦略に関わる情報提供、棚割提案、販促提案　等
- カイゼン活動

西エリアを受託

×

国分グループ

- 地域密着全国卸の強みを活かした商品調達力、情報力、商品発掘力
- オリジナル商品提案、PB開発

東エリアを受託

トピックス②基幹システム再構築

2022年2月 管理・情報系のシステム稼働
2022年4月 物流系のシステム順次稼働 ⇒2023年中の完全稼働

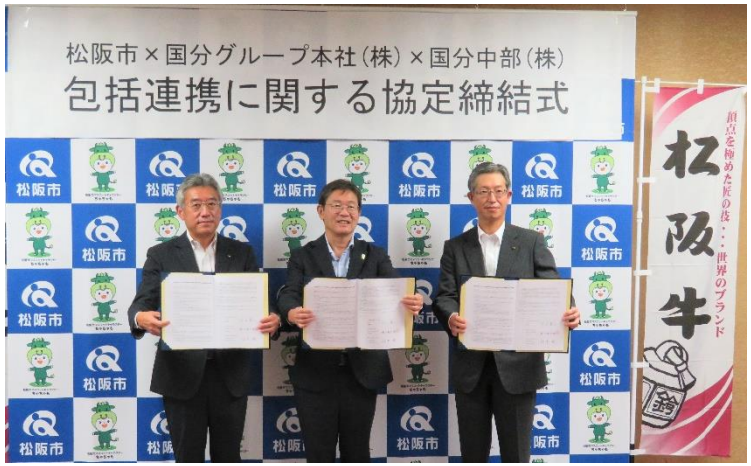
【目的】◎最適な物流体制の構築
◎グループ全体での業務効率化・品質向上

グループでのシステムの共通化を図ることで
お取引先様に従来以上の価値を提供し最適流通を実現

トピックス③国分中部　地方創生に繋がる取組み

三重県松阪市

三重県松坂市、国分グループ本社㈱と国分中部の3者で包括連携協定を締結（2022年10月）



【目的】同市の活性化と持続的な発展

地元の食材や地域資源を掘り起こし、地域の魅力を活かした商品開発や販路開拓

岐阜県高山市

飛騨高山エリアでの観光需要回復と地域活性化

「飛騨の酒祭りセット」を販売（2022年10月）

- 「飛騨の地酒」と岐阜県の県魚である鮎を原料に使用した「K&K缶つま 岐阜県産小鮎油漬け」を詰め合わせたギフトセットを開発・販売

静岡県

地元企業の販路拡大支援

卸売業として初めて静岡県主催の地域商談会に参加（2022年8月）

トピックス④トーカン「東甘堂（とうかんどう）」ブランド確立・発信

アンテナショップのオープン　ブランド認知度の向上を目指す

東甘堂：素材の持つ甘味を独自の製法で最大限に引き出したこだわりのスイーツブランド

東甘堂　SAKUMACHI 本店
22年3月店舗リニューアル

（名古屋市北区）

・カフェ業態の店舗
・店内では飲食に加え、物販も実施
・テイクアウト窓口より、店外から購入も可能

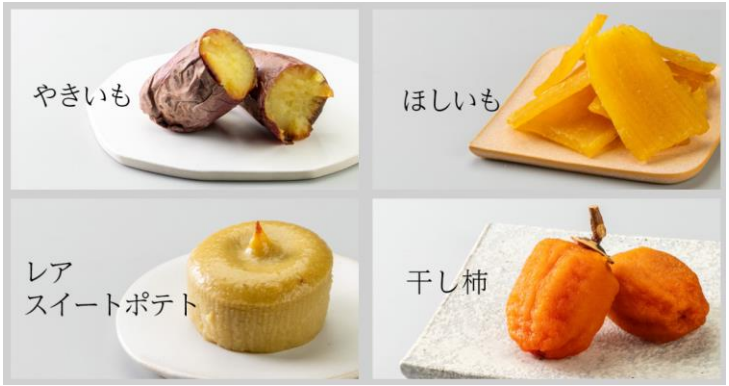
東甘堂 マルエイガレリア店
22年10月新規オープン

（名古屋市中区）

・都心型の物販店
・手土産に便利な焼き芋やお芋プリン等に加え、季節限定スイーツを販売

“令和の老舗”をコンセプトに、ロゴ・商品パッケージの全面リニューアル

【主な販売商品】



長期戦略（2021年12月期～2025年12月期）の取組み状況

スーパーマーケット、ドラッグストア	➢ 国分フードクリエイト㈱中部エリアの低温事業譲り受けによる三温度帯フルライン機能の強化 ➢ 重点エリア（愛知三河・静岡・三重）における新規開拓及び売上拡大 ➢ 得意先企業の特性・ニーズに応じた取組み、スーパー惣菜の売上拡大
外食・中食・給食	➢ 三給㈱のグループ化による給食卸売事業への参入 ➢ 給食事業における物流受託 ➢ 中食・惣菜向けの売上拡大
コンビニエンスストア	➢ 売場検証に基づく日商向上に向けた取組み（デジタルコンテンツ活用） ➢ 一部カテゴリーの売上拡大 ➢ 鉄道系売店との取引開始
その他（EC）	➢ EC事業者向けへの酒類等の取引拡大
オリジナル商品	➢ グループの販路を活用したオリジナル商品の拡販 ➢ 地方自治体・地元事業者・酒類組合との取組み
物流	➢ 物流「2024年問題」に向けた取組み ➢ カイゼン活動のグループ展開 ➢ 同業卸企業との共同配送

2023年2月10日

2022年12月期　決算説明資料

セントラルフォレストグループ株式会社

証券コード：7675

補足資料

セントラルフォレストグループ株式会社

設備投資（2022年12月期実績・2023年12月期計画）

（単位：百万円）

	2022年12月期　実績	2023年12月期　計画
設備投資額	371	679

※設備投資額は有形固定資産のほか、無形固定資産への投資も含めて記載しております。

主な設備投資

［2022年12月期　実績］

・製造工場の品質向上及びコスト低減　122百万円

名古屋工場　生ごみ処理機・画像検査装置他 機械取得　106百万円

［2023年12月期　計画］

・物流関連　260百万円

物流センターの設備維持・更新及び庫内機器取得

・情報関連　151百万円

新システムの開発・環境構築、移管作業